



令和7年6月17日

深川市議会議長 近沢 弘幸 様

会 派 名 民主クラブ

代 表 者 名 会長 田畑 陽美



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☒ 広報費	☐ 広聴費	☐ 要請・陳情活動費
	☐ 会議費	☐ 資料作成費	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務所費
実施期間	令和7年2月19日				
実施場所					
参加者名	民主クラブ				
実 績 額	12,000円（うち交付請求額 12,000円）				
内 容	民主クラブ通信発行用 リサイクルペーパー購入				



令和7年 6月 17日

深川市議会議員 近沢 弘幸 様

会 派 名 民主クラブ

代 表 者 名 会長 田畑 陽美



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	☐ 調査研究費	☒ 研修費	☐ 広報費	☐ 広聴費	☐ 要請・陳情活動費
	☐ 会議費	☐ 資料作成費	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務所費
実施期間	令和7年5月7日～5月9日				
実施場所	全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市）				
参加者名	新田 旺				
実 績 額	64,700円（うち交付請求額 64,700円）				
内 容	令和7年度市町村議会議員研修「新人議員のための地方自治の基本」 【1日目】 「地方自治制度の基本、地方議会制度について」 講師：野田 遊 教授（同志社大学政策学部大学院総合政策科学研究科） 篠田 光洋 副部長（全国市議会議長会企画議事部） 【2日目】 「地方議会と自治体財政、条例と政策の審査・立案、条例演習」 講師：金崎 健太郎 教授（武庫川女子大学経営学部課題討議） 吉田 利宏 元衆議院法制局参事 【3日目】 「これからの地方議員に期待されていること」 講師：谷口 尚子 教授（慶應義塾大学法学部政治学科） 市町村議会議員研修参加費 11,000円（振込手数料 550円） 5/6・9 深川→新千歳空港（JR） 5,680円 5/6 新千歳空港→伊丹空港（ANA・片道） 24,010円 5/6 大阪空港駅→瀬田駅 1,300円 5/6 大津市宿泊料金 4,680円 5/7 瀬田駅→唐崎駅 320円				

5 / 9	唐崎駅→京都駅	240 円
5 / 9	京都駅→関西空港駅	3,060 円
5 / 9	関西空港→新千歳空港 (Peach・片道)	7,120 円
5 / 9	新千歳空港→深川 (JR)	6,740 円
	合 計	64,700 円

令和 7 年度市町村議会議員研修 3 日間コース報告書

第1回新人議員のための地方自治の基本

時:2025年5月7日～5月9日

所:全国市町村国際文化研究所:滋賀県大津市唐崎2丁目 13-1

1 日目、地方自治制度の基本、地方議会制度について

・地方自治の基本

講師:野田 遊 教授 同志社大学政策学部大学院総合政策科学研究科

この講義では、地方自治制度の基本について、日本の自治体がどのようにして成り立っているかの全体像を外国の制度の比較などをして学ぶことができました。

・地方議会制度について

講師:篠田 光洋 副部長 全国市議会議長会企画議事部

この講義では、地方議会の具体的な制度や、議員の権利、議会運営の基本について学ぶことができました。

2 日目、地方議会と自治体財政、条例と政策の審査・立案、条例演習

・地方議会と自治体財政

講師:金崎 健太郎 教授 武庫川女子大学経営学部

この講義では、自治体財政と予算を中心に、特に、地方交付税交付金の仕組みや、臨時財政対策債について、予算審査における重要なポイントについて学ぶことができました。

・条例と政策の審査・立案、条例演習

講師:吉田 利宏 元衆議院法制局参事

この講義では、条例制定の仕組みと、議員立案の条例の重要さと、条例立案時の重要な視点を実際にグループ演習で条例を立案してわかりやすく学ぶことができました。

3日目、これからの地方議員に期待されていること

・多様な人材の地方議会への参画増進について、日本における地方議会のデジタル化について

講師：谷口 尚子 教授 慶應義塾大学法学部政治学科

この講義では、多様な人材の地方議会への参画増進について、選挙制度と投票率の向上に向けた課題、主権者教育につて、議会改革について詳しく学ぶことができました。

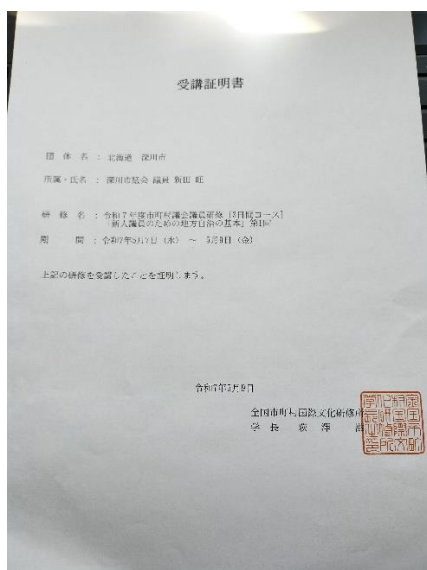
日本における地方議会のデジタル化についても実際に導入している国や自治体を例に挙げながら、行政のDX化について学びました。

～所感～

今回この3日間の講義で特に学ぶことができたことは、条例の立案についてです。

条例立案できる議員の存在は、執行部の一方的なものになることを防止することができる役割があり、また、条例を審議する際に市がどこに力を入れているか具体的に知ることができると学ぶことができたので、今回学んだことを活かして深川市での条例審査に力を入れていけたらと思いました。

また他の講義も自分の知っていた知識の再確認をすることができて、今後の議員活動につながる意義のある研修でした。



別記様式第5号(第4条関係)



令和7年9月26日

深川市議会議長 近沢 弘幸 様

会 派 名 民主クラブ

代 表 者 名 会長 田畑 陽美



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 広報費	☐ 広聴費	☐ 要請・陳情活動費
	☐ 会議費	☐ 資料作成費	☒ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務所費
実施期間	令和7年7月3日				
実施場所					
参加者名	民主クラブ				
実 績 額	4,440円（うち交付請求額 4,440円）				
内 容	国民森林会議 購読料				



令和7年 9月 26日

深川市議会議長 近沢 弘幸 様

会 派 名 民主クラブ

代 表 者 名 会長 田畑 陽美



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 広報費	☐ 広聴費	☐ 要請・陳情活動費
	☐ 会議費	☐ 資料作成費	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務所費
実施期間	令和7年8月27日～8月28日				
実施場所	札幌市文化芸術劇場 hitaru (札幌市)				
参加者名	田畑 陽美・伊藤 美恵子・新田 旺				
実 績 額	59,110円 (うち交付請求額 59,110円)				
内 容	第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌 第1部 基調講演 「主権を預かる誇りと責任」 伊吹 文明 氏 (元衆議院議長) 第2部 パネルディスカッション 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」 ◇コーディネーター 辻 陽 氏 (近畿大学法学部教授) ◇パネリスト 牧原 出 氏 (東京大学教授) 白石 洋一 氏 (読売新聞東京本社政治部次長) 山下 節子 氏 (山口県宇部市議会議長) 長内 直也 氏 (札幌市議会議長) 第3部 課題討議 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」 ◇コーディネーター 牧瀬 稔 氏 (関東学院大学法学部地域創生学科教授) ◇事例報告者 今井 康善 氏 (長野県岡谷市議会前議長) 平神 純子 氏 (鹿児島県南さつま市議会議員) 中野 進 氏 (石川県白山市議会議長)				

第20回全国市議会議長会研究フォーラム参加報告

全国市議会議長会研究フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題について情報交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的に開催されています。今回は「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」をテーマに、全国から約2,500人の参加がありました。

近年、地方議会においては、人口減少の加速化や超高齢化の進展などにより、議員のなり手不足が危惧されています。深川市議会でも同様の課題を抱えていることから、今後の議会運営の参考とさせていただくため民主クラブとして二日間のプログラムに参加させていただきました。

【開催日程】

2025年8月27日（水） 13:00～18:45
8月28日（木） 9:00～

【会 場】

札幌市文化芸術劇場 hitaru

【テーマ】

地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて

【プログラム内容】

（1日目）

◇基調講演「主権を預かる誇りと責任」

◇パネルディスカッション 「多様な人材の参画促進の観点から
地方議会議員のなり手不足問題を考える」

◇意見交換会

（2日目）

◇課題討議 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」



〈基調講演〉

「主権を預かる誇りと責任」 伊吹 文明 氏（元衆議院議長）

・地方議会議員は「主権を預かる者」としての誇りと責任をもつ。
また、地域住民から選ばれた立場であり、地域の声を首長に伝える役割があること、その責任を自覚することが不可欠である。

・二代表制のもとで、対立が生じた際の調整や役割分担に課題があるという指摘があるが、この制度には地方自治の根幹としての意義があり、議会の立場として、首長・行政とどう向き合うかが重
・なり手不足の問題と関わって、議員の報酬や待遇、生活保障、制面での支援など、議員が立候補しやすく、務めやすい環境づくりの要性、また、議員の資質向上や誇りを持つこと、責任を全うする為制度的。実務的な整備が求められている。



- ・議員として、自分の選挙区だけではなく、地域全体、広く公共の利益を考えるべき。
- ・地方議会や議員の活動・役割を住民に理解してもらうこと、若年層への政治参加・教育を促すことなど、議会をもっと身近に感じてもらう努力をし、地域住民から尊敬される議員になること。

【所感】 伊吹氏の基調講演に参加して

伊吹氏の「市議会議員は、主権者である国民から直接信託された存在」という言葉が印象的で、日常の議会活動の重みや意義を改めて感じさせられました。特に印象的だったのは、二代表制のもとで市長と議会という異なる民意の代表同士が建設的に対話・対立する必要があるという指摘でした。議員は対立を恐れず、市民にとって何が最善かをよく考えて動くべきだと感じました。また、議員のなり手不足や議会の開かれ方では、議会が市民から信頼され、共感される存在でなければならないこと、そのために私たち自身も日々の活動を見直し、説明責任を果たしていかなければならないと痛感しました。

この講演を通じて、議員として、市民の皆さまの声をしっかり受け止め、地域全体の利益と未来を見据えた議会活動を行っていきたいと思います。

＜パネルディスカッション＞

「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」

◇コーディネーター 辻 陽 氏（近畿大学法学部教授）

◇パネリスト 牧原 出 氏（東京大学教授）

白石 洋一 氏（読売新聞東京本社政治部次長）

山下 節子 氏（山口県宇部市議会議員長）

長内 直也 氏（札幌市議会議員長）

（辻 陽 ）

地方議員のなり手不足が課題となっている中でその問題に関与する3つの論点として議員の多様性や住民代表性の確保、議員定数と議員報酬のあり方があげられると考える。

地方議会、議員定数、議員報酬を考える論点は、議員像の想定により定数や報酬額も異なる。またどのようにして議員の多様性を確保するか、何の代表としての役割を議員や議会に期待すべきなのかを考えるべきである。

（牧原 出）

地方議会の課題として、人口減の対応の仕方、新型コロナウイルス感染症などの危機対応をどう地方自治に活かすかがどちらも長期的な課題となってきた。

課題解決の取り組みとして技術革新へのリテラシーが大きな鍵であり、地方自治体のデジタル化が進み、オンライン議会が世界的に進んできた。

しかし、DX 推進においては、自治体ごとに状況は異なるので一律の制度では対応が難しく、都道府県、周辺自治体との垂直連携や、地域の尊厳による安定感と若年世代の満足感のバランスを検討する必要がある、デジタル化は長期的には自治体のあり方を変え、議会において不変の熟した議論の場を活性化する。

（白石 洋一）

なり手不足の問題の記事が近年、増えてきている。有権者の意識として、選挙費用が高額なこと、議員の仕事に魅力を感じないといったものなどがあげられる。



解決策として、クオータ制、立候補休暇、夜間議会、オンライン導入やふるさと議会制度（仮）でバッジはなくても政策アイデアのシンクタンク機能を果たしふるさとに貢献する。

また、お金の問題にどう対応する大胆な見直しが必要ではないか。

（山下 節子）

多様な人材の参画にむけて、人口減が進み、地方自治体が多く課題を抱える中で議会にも政策提言能力を備えることが重要。市議会として、議会、議員の関心の向上や、現役世代、多様な人材が立候補しやすい環境づくりが急務である。宇部市では主権者教育の一環として、高校生議会や、議会と学校が連携した子ども選挙を行っている。

会社を辞めて市議会議員になるとしたら不安が多くあるため議員になりたい人が立候補しやすい環境づくりが必要である。その取り組みとして、議会のあり方検討特別委員会を設置して様々な角度からなり手不足について対策の検討を行っている。情報発信の強化や報酬の見直し、議員の資質向上などを検討し、議員報酬の見直しにおいては、現役世代が議員になれるように職業として見合った報酬額と、議員として活動に専念できる環境の整備を目的として、報酬の改正案を宇部市特別職報酬審議会に審議を依頼して市民に説明を行い、市民が期待する姿（活動）を見える化している。

（長内 直也）

札幌市議会では主権者教育の取り組みを 3 つ行っている。HP で議場見学に来た小中学生を紹介、教育委員会を通じて夏休みの自由研究に議場見学を提案、札幌市議会の 1 年間の流れがわかるチラシを作成し、小中高生向けに議場見学で配布・説明やさっぽろ議会だよりにも特集記事として掲載などを行なっている。市議会のキッズページも作成している。

また、地域や区役所等との連携した取り組みも行い、主に小中高校生をメインに主権者教育に力を入れている。

【所感】

今回のパネルディスカッションの中で改めてなり手不足の深刻さを実感しました。議会 DX の推進はもちろんのこと、議員報酬や選挙費用などのお金の問題や、市民の方に市議会の活動を知ってもらうことの重要性を今回学ぶことができました。自分自身も市民の方から議員はどんな活動をしているかわからないと言われる場面が少なからずあるので、深川市議会でも開かれた議会を目指すための取り組みをより積極的に行っていく必要があると感じました。また、札幌市議会での主権者教育の取り組みは非常にわかりやすく、教育委員会を通じた小中学生の議場見学などは深川市議会としてもすぐに取り組めると思うので、今回のパネルディスカッションの内容を活かして今後の議員のなり手不足や投票率の向上のための取り組みを考えていきたいです。

＜課題討議＞

「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

◇コーディネーター 牧瀬 稔 氏（関東学院大学法学部地域創生学科教授）

◇事例報告者 今井 康善 氏（長野県岡谷市議会議員）

平神 純子 氏（鹿児島県南さつま市議会議員）

中野 進 氏（石川県白山市議会議員）



（コーディネーター：牧瀬 稔）

- ・2023 年の統一地方選挙では、投票率の低下や無投票当選者の割合が高まるなど、小規模市議会における議員のなり手不足が深刻化した。
 - ・若者や女性、会社員など、多様な人材の地方議会への参画を促し、議会を活性化することは、多くの市議会に共通する課題である。
 - ・無投票率が高いのは、都道府県議会と町村議会議員選挙である。市議会議員選挙は、無投票率が拡大しているものの低水準。ただし、規模の小さい市議会はなり手不足が顕在化。
 - ・なり手不足には、2つのパターンがある。
- ① 諦観的なり手不足→「議員になりたいけどなれない」と諦める。（都道府県議会に多い）
 - ② 必然的なり手不足→報酬が低い、住民との距離が近くプライベートが確保できないなど「議員になろうと思わない」（町村議会に多い）
- ※裁量労働月額21万円、福利厚生なし、諸手当なし、昇給なし
退職金なし、年金は国民年金、個人情報ダダもれ、裁量労働のため365日対応⇒このような状況で議員のなり手を探すのは厳しい

（岡谷市議会：今井 康善）

- ・令和5年の市議会議員選挙で定数割れ（定数18人）。市としては全国で岡谷市だけという不名誉な事態となった。
 - ・新議会体制で、4つの重点項目に取り組んでいる。
- ① 議会情報のオープン化・・・SNS活用、広聴機能の充実、プレス発表の強化など
各議員の政策公開（マニフェストスウィッチ）
 - ② 住民の議会への参加・・・市民参加型の意見交換会や議会報告会、小中学生への啓発活動
 - ③ 議会機能の強化・・・タブレット導入、専門家による議会運営アドバイス
 - ④ 議員のなり手不足対策・・・なり手不足に向き合うシンポジウムの開催、議員報酬検討

（南さつま市議会：平神 純子）

- ・鹿児島県内の女性議員を100人にする会を立ち上げ活動。1991年の19人から2023年には98人に。女性ゼロ議会6自治体に女性議員を誕生させるのが次の目標。
- ・県内各地でフォーラムや講演会を開催し女性候補者の発掘に努めている。

（白山市議会：中野 進）

- ・令和3年2月の選挙で、告示2週間前で出馬表明が定数より2人少ない状況。（定数21人）
 - ・令和3年5月に「未来へつなぐ議員の在り方検証委員会」を設置。7月に議員討論会を開催。
- ① 議員に若者や女性が少ない弊害 ②選挙に出られない理由 ③市民から見た議員像
- ・市民との意見交換「みんなでギカイを考えるキカイ」を開催。市内の19団体と意見交換し14人が参加。テーマは、①議員のなり手の確保 ②投票意識の向上 ③議員の兼業・請負の禁止 ④適正な議員報酬
 - ・市民からの意見をもとに、
- ① 市民の多様な意見を反映させるため広報広聴委員会を充実
 - ② 立候補環境改善のための政治倫理条例の一部改正（請負契約制限の努力規定を廃止、ハラスメント規定を明記）

③ 魅力ある報酬への改定（議論中）

【所感】

議員のなり手不足は、小規模自治体にとって深刻な問題となっていることを改めて実感する課題討議でした。本市でも令和5年の市議会議員選挙は無投票となりましたので、提案市の現状や取組は他人事ではなく、大変参考になるものでした。特に、岡谷市での、各議員の政策公開（マニフェストスイッチ活用）は、無投票となり選挙公報が配付されなかったため、市民に各議員の政策を周知するために取り組んだもので、市民の皆さんに議会や議員活動に関心を寄せていただく一助になるのではないかと感じました。

議員のなり手不足を解消するためには、議会の見える化、市民との対話などの広報広聴活動の充実はもちろんですが、多様な人材が議員として活躍できる環境整備も重要であると強く感じました。

